

# まちづくりニュース

2019年3月 発行：大門・本町通りまちづくり委員会

## 1. 横手市増田町～内蔵のある街並み～増田まちなみ保存会懇談視察報告



横手市増田町～内蔵のある町並み～

第19回大門・本町通りまちづくり委員会が2019年3月10日（日）に開催され、横手市増田町の増田まちなみ保存会の方々と懇談し、内蔵のある町並みを視察しました。



参加者名簿（敬称略）

大門・本町通り まちづくり委員会	菅野和博・春日井一尚 池田芳雄・島田鋼二 山口英幸・針生喜弘 池田則男・池田真紀子 池田俊郎・池田恵利子 柴田和紀・佐藤博子
秋田県立大学	山口邦雄
由利本荘市建設部	佐々木肇・三浦洵一

## 増田まちなみ保存会の方々と懇談

今回は、最近全国的にも注目されている横手市増田町の内蔵のある町並みを視察してきました。始めに増田まちなみ保存会（以下保存会）の佐藤又六会長と横手市歴史まちづくり課遠藤博已係長に内蔵のある街並みについてお話を伺いました。

平成17年に写真集『増田の蔵』が発刊し、3件の内蔵の見学解放が始まり、翌年には「蔵の日」を開催し、多くの内蔵が解放されました。見学に来られた方は驚かれたそうです。その後、商工会や行政の後押しがあり、少しずつ活動の幅を広げていきました。平成25年4月に保存会が発足し、同年12月に重要伝統的建造物群保存地区選定が告示されました。平成26年には、国民文化祭時に皇太子殿下がご視察されるなどより注目度が増し、メディアにも取り上げられることが多くなったそうです。今日では全国から多くの観光客が来町し、少しずつ賑わいも戻ってきているそうです。今後は、後継者が戻ってきてくれてさらに賑わいが復活してくれるれば、という事でした。

### 参加の感想

- ・内蔵のある町並みの歴史と伝統を活かし、地域住民と行政が一体となって活動をしている。今後の活動も行政と一緒にやっていくことが必要と感じた。
- ・事業の主体がどこかによって事業の進み方が違うと思うが、私たちがお願いに上がるのは由利本荘市。市から助言をいただきながら活動をしていき、少しでも早く終わらせたいです。
- ・10年前に増田に来たときは全然こんな感じではなかった。今日来たらすごく良くなっていた。継続は力なりと感じた。

など

## 2. 由利本荘市に要望書提出

（平成30年12月20日）



今年度に入り事業の進捗状況が非常に遅くなっており、まちづくり委員会としては早期完了を促進するために、由利本荘市長谷部誠市長に早期完了に向けた要望書を提出してきました。

3月になり、秋田県から今年度の補正予算にて2億円の事業費が確保できたと連絡がありました。来年度に向けても早期完成に向け要望していきます。

地区計画・まちづくり協定は 由利本荘市 建設部都市計画課 Tel0184-24-6332  
事業の進捗状況などは 由利地域振興局 建設部用地課 用地・管理班 Tel0184-22-5437

### 視察・懇談会スケジュール

8:50	（集合） 裏尾崎町 きらやか銀行前
9:00	（出発） きらやか銀行前 マイクロバス
10:15	（到着） 町並み案内所「ほたる」
10:30	【懇談会】 増田まちなみ保存会 会長 佐藤又六 氏他
11:30	【視察】 内蔵視察 佐藤又六家
12:15	【昼食】 佐藤養助漆蔵資料館（昼食は各自）
13:30	【視察】 内蔵視察 旧石田理吉家他
15:00	（出発） 町並み案内所「ほたる」 マイクロバス
16:15	（到着） 裏尾崎町 きらやか銀行前

# (都)停車場栄町線：現在の事業進捗と今後の予定について

## <事業概要>

- ・計画概要：延長374m、幅員18m(2車線)
- ・事業認可期間：平成25年度～平成31年度(延長予定)
- ・事業内容：現道拡幅、電線共同溝
- ・全体事業費：約30.0億円

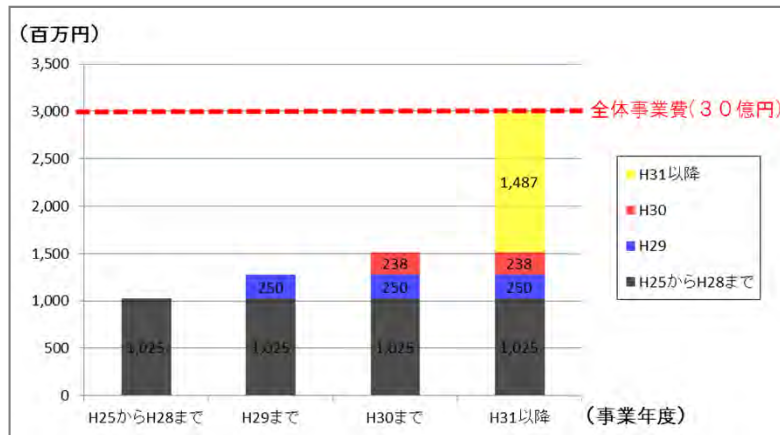
## <事業費>

- ・H30までの事業費：約15.1億円(50.3%)

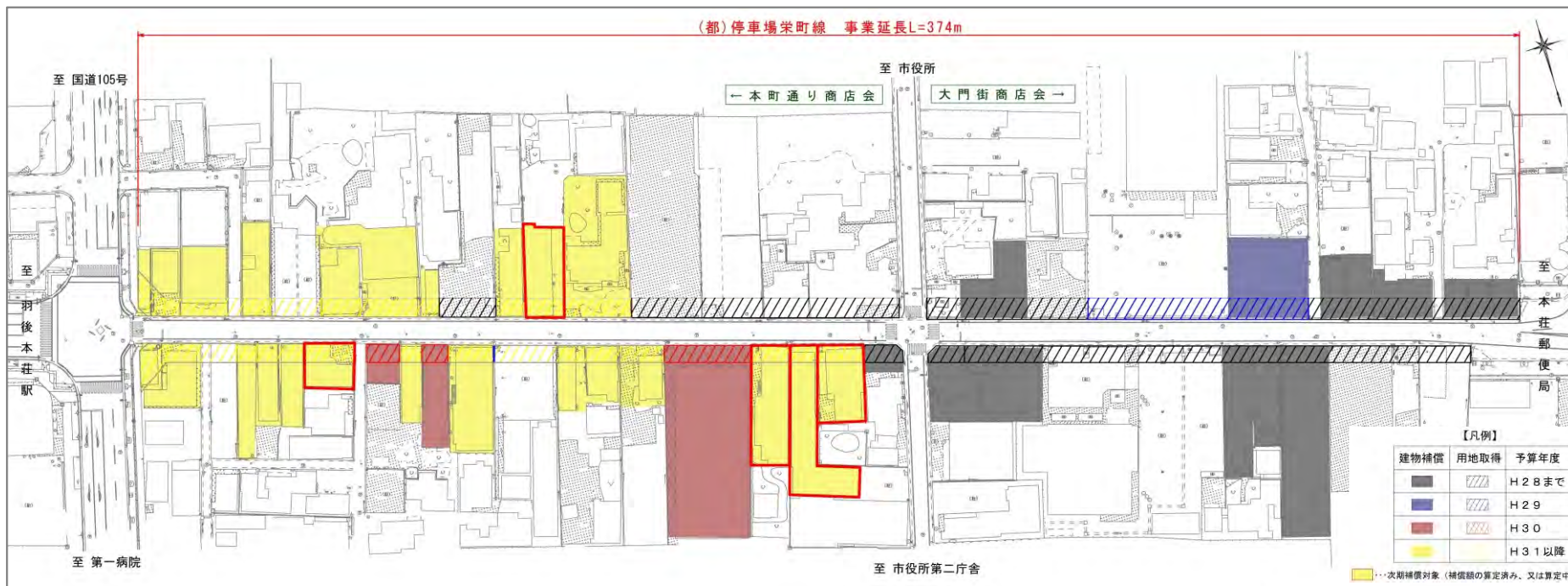
## <建物補償件数>

- ・全体：42件
- ・補償件数：19件(45.2%)
- ・残り件数：24件(黄色着色箇所)

### 「事業費推移グラフ」



### 「事業平面図」



## <今後の予定について>

今年度の補正予算について、県から国に対し「①西工区工事 ②西側電柱移設 ③工事隣接地の建物移転補償」の要望を行っていますが、そちらの予算配当について現在、国からの内示を待っている状況です。また、来年度の当初予算の内示については、例年3月末～4月始め頃となっています。近年の予算状況では、補償物件の規模の大きさにも左右されますが、年2～3件の補償分の進捗となっています。

今後についても、残地での土地利用計画策定の為、地区外へ移転される方の補償を優先的に補償を進めていく予定としています。